令和８年度　武蔵野市立本宿小学校　学校だより　　１０月号

はとじゅく

仲間と共に考え、成長する秋

特別活動主任

澄み渡る秋空のもと、気持ちの良い秋風が校庭を吹き抜ける季節となりました。朝夕の涼しさとともに秋の深まりを感じる今日この頃ですが、校庭や体育館からは子どもたちの弾けるような笑顔と元気な声が響き渡っています。日々の生活や行事の中で、仲間と力を合わせながら一歩一歩成長を重ねる子どもたちの姿は、とても頼もしく見えます。

◆６泊７日のセカンドスクール（５年生）

自分たちの力で生活を組み立てる分宿体験は、自立心を育むかけがえのない時間となりました。慣れない環境のなか、仲間と協力して自然体験やレクリエーションに挑む中で、一人ひとりが自分の役割を果たし、助け合うことの尊さを深く学んだようです。

無事に帰校した子どもたちの晴れやかな顔には、困難を乗り越えた誇りがにじみ出ていました。ご家庭での温かな見守りと励ましに心より感謝申し上げます。体験を通して得た「仲間と力を合わせる喜び」を、これからの学級・学年づくりにも活かしていきます。

◆今年度の新たな挑戦「げんきタイム」

本校では今年度、教育目標の重点項目である「元気な子」の育成を目指し、新たな取組として「げんきタイム」をスタートさせました。朝会や集会のない水曜日の朝（8:30～8:45）、クラスごとに校庭や体育館へ繰り出し、みんなで思い切り体を動かして遊ぶ時間です。

単に体を動かすだけでなく、学年に応じて子どもたち自身が遊びの内容を企画・運営しています。「みんなが楽しめるルールは？」「仲間ともっと仲良くなるには？」と知恵を絞り、協力して解決していく中で、自主性や問題解決能力、そしてクラスの温かな信頼関係がぐんぐんと育っています。

◆新たな「はとの子発表会」へ向けて

この「自分たちで考え、協力し合う姿」は、学校行事の中でも大きく花開こうとしています。10 月 30 日（金）、31 日（土）には「はとの子発表会」が開催されます。今年度も、全学年が劇を通してテーマや思いを表現します。

特に最高学年である６年生は、新たに「はとの子実行委員会」を立ち上げました。「はとの子発表会をより良いものにし、盛り上げるために何ができるか」を子どもたち自身がアイデアを出し合い、企画・運営を進めています。自分たちの手で行事を創り上げようとする姿は、とても頼もしく感じられます。

◆仲間と共に育む主体性と絆

特別活動（特活）の大きな意義は、集団の中で「自分たちで考え、協力し合って課題を解決していく経験」を積むことにあります。「げんきタイム」や「はとの子発表会」の取組を通して、子どもたちは「自分には仲間がいて、共に高め合っていける」という強い実感を得ています。

子どもたちが心を合わせて挑戦する姿を、ぜひ楽しみにしていてください。秋深まるこれからの季節、成長していく子どもたちを、学校と家庭、地域が一つとなって温かく見守り、支えてまいりましょう。保護者の皆様のご理解とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。